令和6年度　丸山保育園　自己評価表

（保育理念）
明るく・強く・たくましく
丈夫な身体と人を愛する心を養う

（保育方針）
個性を見出し、長所を引き出しながら、心身ともに明るく健康な子どもに育つ環境をつくる。

A ： よくできている　　B ： わりとできている
C ： 一部改善が必要　　D ： 改善しなければならない

	内　　容	評価	意見・改善策
保育目標について	（１）保育士一人一人が、丸山保育園の保育理念、保育方針を理解している	A	園の方針のもと、子ども一人ひとりの事を思い、よりよい保育を心がけ、また、人権を意識し、毎月話合いを持つことで全職員の共通理解を図る
	(2) 子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	A	
	(3) すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	A	
保育について	(1) 保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	A	子どもの姿やクラスの状況を把握し、日々の計画を立てるとともに環境を整えることができた。 環境を整え保育を工夫することで子ども達の成長にもつながっていくと思うが、まだまだ、工夫をすることがあり、今後のより良い保育につなげていきたいと思う。
	(2) ３歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	A	
	(3) 素材・用具を適切に活用している	A	
	(4) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	A / B	
	(5) 職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	A	
	(6) １日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよい	A	
食育について	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A	今年度もアレルギー児は多く全体で、又担任と給食で話し合いながら、間違えの内容に行っていった。食材のみではなく、出汁の中にも含まれる成分も除去があり、定期的に保護者とも話し合いながら、保護者と通して医師からのアドバイスも
	(2) 栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	
	(3) アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	
職員構成 役割分担 研修	(1) 職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	A	園全体で研修を受けたことで得た知識を自分だけではなく、全職員に研修報告で共有できた。
	(2) 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	A	
	(3) 園内外の研修は計画を立て実行している	A	

	内　　容	評価	意見・改善策
保護者支援・情報	(1) 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	A	日々保護者と方々に対し、挨拶や子どもの様子、体調、連絡事項など丁寧にお伝えしたり、応答したりするように心がけた。また、ホームページで園児の写真などを乗せる際は、同じ子ばかりではないようにチェック体制をとっている。 個人情報での書類関係は保護法に則り、守秘義務を徹底することが出来ている。
	(2) 保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	A	
	(3) 様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	A	
	(4) 園だより、クラスだより、掲示板、ホームページ等を通して、保育内容や 子どもの姿や保護者への情報を発信している	A	
		A	
	(5) 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	
	(6) 職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	

開かれた保育園	(1) 小学校と連携し、情報交換をする機会を持つ	A	気になる子については、声掛けはしているが、専門きかんまでつなげている。 年長児の小学校との交流で小学校へのあこがれを持つことができた。
	(2) 気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	A	

子育て支援	(1) 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	B / C	地域への子育て応援での交流は今後の課題であるが、保育園では重要な位置となるので検討を続けていきたい。保護者からの質問や相談などがあれば、保護者の気持ちに寄り添い、園の様子も伝えながら支えていきたいと思います。
	(2) 子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	A	
	(3) 園生活の子どもの様子を地域にも発信している	A	

総合反省

日々の保育に追われ、子ども達が楽しめる保育が出来ているか自問自答することもあるが、子ども達が中心に楽しめる保育を心がけ、「保育の本質」の向上に向けて努力する事が非常に重要だと思います。
職員間では、情報共有がしっかりと出来ていたので、あたふたすることなく保育が出来た。来年度も引き続き、クラスの職員だけでなく他のクラスとも連携をとっていきたいと思います。
また、今年度は園内研修が充実し、救急救命士の方より救命講習・アレルギー専門医のエピペン講習・遊びの講師による絵本、子育て等の研修をそれぞれ専門の方から多くを学ぶことが出来大変良かったです。
保育の中でも重要な事は安全面だと思います。遊び方を知らない、怪我の回避方法がわからない、咀嚼ができない等、遊びや食事、保護者の認識や考え方も変わっていく中で、今の時代や子ども達に合った保育や食事の提供をしていく必要性がありますが、事故のないよう、職員間の連携を大事にし、「報・連・相」や安全確認の徹底をし、今後も気を引き締めて環境を整え、安心・安全な保育に努めていきたいと思います。

組　　氏名